

2019年2月8日

スポーツを通じて世界にはばたく逞しい人材を育成

2019年度YMFSスポーツチャレンジ助成 対象者(29件 総額2,868万円)を決定

当財団(YMFS)は、2019年度YMFSスポーツチャレンジ助成制度の助成対象者を決定しました。本制度は「スポーツチャレンジ体験助成」、「スポーツチャレンジ研究助成」の二つのプログラムで構成され、2019年度は第13期生となります。

助成金額内訳は「スポーツチャレンジ体験助成」が15件・1,592万9,838円、「スポーツチャレンジ研究助成」が14件・1,275万0,000円となり合計29件・総額2,867万9,838円になります。

なお、3月1日(金)に「2019年度(第13期生)助成金贈呈式」を千葉県内にて開催予定です。

2019年度スポーツチャレンジ助成の概要

プログラム	申請件数	採択件数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	40件	15件	1,592万9,838円
スポーツチャレンジ研究助成	53件	14件	1,275万0,000円
計	93件	29件	2,867万9,838円

スポーツチャレンジ助成制度とは？

本制度の特徴は助成金贈呈だけに留まらず、PDCAサイクルを基調としたYMFS独自のサポートプログラムを通じて助成対象者の成長を支援することです。

※2019年度(第13期生)の活動期間は、2019年4月から2020年3月です。

<YMFS独自のサポートプログラムについて>

- スポーツチャレンジャーズミーティング(3月):活動開始に先立ち、対象者が一堂に会して、前年度対象者による成果報告やテーマ討論会等を通し、自身のチャレンジ意欲を高める機会を提供。
- 四半期報告(3ヶ月毎):活動報告に対し個別にアドバイスを返す事で各人の活動をフォロー。
- 中間報告会(9月、10月):半期経過時点の振り返りと残りの期間に向けたアドバイスを提供。また、座談会を併催し共に「語り」「学び」「考える」事を通して目標達成の糧とします。
- スポーツチャレンジャーズミーティング(翌年3月):一年間におよぶチャレンジの集大成として成果報告を行い、助成対象者同士がお互いを刺激し次へのチャレンジへ英気を養う場として開催。

※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当:小畠)

www.ymfs.jp

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500
TEL: 0538-32-9827 FAX: 0538-32-1112

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112

2019 年度(第 13 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2019 年 2 月 1 日現在)

- ・「体験助成」はアスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3つのカテゴリーで構成されています。
- ・ジュニア世代の国際大会で実績を有する「ジュニア(上限 50 万円)」、国際レベルでの活躍を目指す「ベーシック(上限 100 万円)」、国際レベルでの実績を有する選手等を対象とした「アドバンスド(上限 150 万円)」があります。

区分	氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
ジュニア	きたがわ ゆういちろう 北川 雄一朗 (16)	卓球(障害者スポーツ)／選手	国際大会に参加しランキングを上げ、パラリンピックを目指す	兵庫県立赤穂高等学校
	しのはら きり 篠原 輝利 (15)	自転車ロードレース／選手	ツールドフランス総合優勝を目指して慣れる～挑戦へ・・・本格始動	第一学院高等学校
	むらた のあ 村田 希空 (16)	スノーボード・アルペン／選手	アルペンスノーボードでワールドカップ出場を目指す 世界の優れた選手と勝負をしてみたい	近江兄弟社高等学校
ベーシック	きのした りん 木下 凜 (17)	スケルトン／選手	海外でスケルトン滑走経験を積み、2022 北京五輪入賞、2026 年五輪で日本人初のメダルを獲得します	明成高等学校
	さいとう こうすけ 齋藤 康祐 (17)	カヌースラローム／選手	日本代表選手として世界選手権大会に出場し、世界のトップ選手と戦える選手を目指す	神奈川県立橋本高等学校
	しのはら りゅうすけ 篠原 琉佑 (17)	スノーボード・アルペン／選手	スノーボード競技アルペン種目ジュニア世界選手権大会で優勝する。及びオリンピックで金メダルを獲得する	東海大学付属諏訪高等学校
	なかい あやこ 中井 彩子 (22)	自転車ロードレース／選手	自転車競技女子ロードレースで欧州での UCI ポイントを獲得し、勝利の戦術と理論、本場の文化を吸収する	鹿屋体育大学
	にしはら かな 西原 佳 (22)	ボート競技／選手	世界選手権入賞・東京五輪出場を目指しています	東北大学
	むらかみ 村上 レイ (15)	アイスホッケー／選手	北米ジュニアアイスホッケーリーグで活躍できる選手になるための挑戦	New Bridge Academy
	よしおか しいか 吉岡 詩果 (16)	フィギュアスケート／選手	世界ジュニア出場を目指し、自分のベストを超える演技が毎試合できるようにする	植草学園大学附属高等学校
アドバンスド	いまい ふたば 今井 双葉 (22)	ボーリング／選手	国内・国際大会にてさらなる活躍を目指すし、ボーリング競技の魅力を伝える	熊本学園大学
	うえむら ゆうき 上村 勇貴 (24)	陸上(障害者スポーツ)／選手	2019 年度に開催される世界陸上選手権大会などの国際大会で表彰台を目指す	日本知的障がい者陸上競技連盟
	かみはし けいしん 神箸 溪心 (18)	スヌーカー(ビリヤード)／選手	スヌーカー世界チャンピオンへの挑戦～本場イギリスでトップ選手へ躍進する～	日本スヌーカー連盟
	ますだ ゆういち 増田 優一 (17)	自転車 BMX レース／選手	5 歳から始めた BMX レースで東京・パリオリンピックで金メダルを取る	大阪借星学園高等学校
	みうら ゆうき 三浦 優希 (22)	アイスホッケー／選手	日本人史上初の NHL プレイヤーとなり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪出場へ導く選手となる	日本アイスホッケー連盟

2019 年度(第 13 期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2019 年 2 月 1 日現在)

- ・「研究助成」は、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2つのカテゴリーで構成されています。
- ・それぞれ、大学院博士課程(博士後期課程)に在籍中もしくは修了者(学位未修得含む)の若手を対象とした「奨励(上限 60 万円)」、研究職として活動に従事する研究者を対象とした「基本(上限 120 万円)」があります。

区分	氏名(年齢)	分野	チャレンジテーマ	所属
奨励	いわた りさ 岩田 理沙 (25)	自然科学	女性アスリートに向けたプレクーリングの有用性の検討:暑熱下運動時における体温調節機能の性差に着目して	早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科
	きむら あらた 木村 新 (26)		投球動作における動作の個性に応じた関節間協調関係の解明	東京大学大学院 総合文化研究科
	さとう だいすけ 佐藤 大典 (28)		競泳における、リレー競技最速スタート方法の提案:引き継ぎ方法と引き継ぎ時間に着目して	中京大学大学院 体育学研究科
	ほりい なおき 堀居 直希 (25)		運動による筋の質的な変化の向上に関わる性ステロイドホルモンの新たな役割の解明	立命館大学大学院 スポーツ健康科学研究科
	やまぐち ゆうた 山口 雄大 (25)		パラサイクリストの競技力向上を目的としたトラック走行中のバイオメカニクスの解析	日本体育大学大学院 体育科学研究科
	まつだ こうじろう 松田 晃二郎 (29)	人文社会	イップスの発症・長期化の要因および効果的な対処法の検討	九州大学大学院 人間環境学
基本	いけど あおい 池戸 葵 (28)	自然科学	エストロゲン欠乏による疲労骨折治癒遷延からの競技復帰を促進する治療標的の探索	愛媛大学プロテオサイエンスセンター
	うえだ まり 上田 麻理 (38)		視覚障害者のスポーツ競技支援のための音響学的研究と聴察力向上に関する研究	神奈川工科大学 情報学部
	かたおか まさたか 片岡 正教 (34)		ポッチャ選手の競技パフォーマンス向上のためのトレーニング用モジュールボールの開発	大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科
	しらい ゆうすけ 白井 祐介 (33)		運動中の認知的負荷の増大が持久性パフォーマンスに及ぼす影響	筑波大学体育系
	たなべ げん 田邊 元 (32)		コンディショニングと連動する口内炎症マーカーの探索	東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科
	ふたみ きょうすけ 双見 京介 (29)		スポーツにおける心身の自己制御を支援するための認知・心理の傾向を考慮した情報提供技術の確立	立命館大学 情報理工学部
	みえの ゆうたろう 三重野 雄太郎 (34)	人文社会	スポーツ・インテグリティと法	佛教大学社会学部 公共政策学科
	もりた さとし 森田 哲史 (39)	人文社会	体育授業における発達の段階に応じた指導計画の開発 —低・中・高学年における系統的な投の運動指導—	埼玉大学教育学部 附属小学校